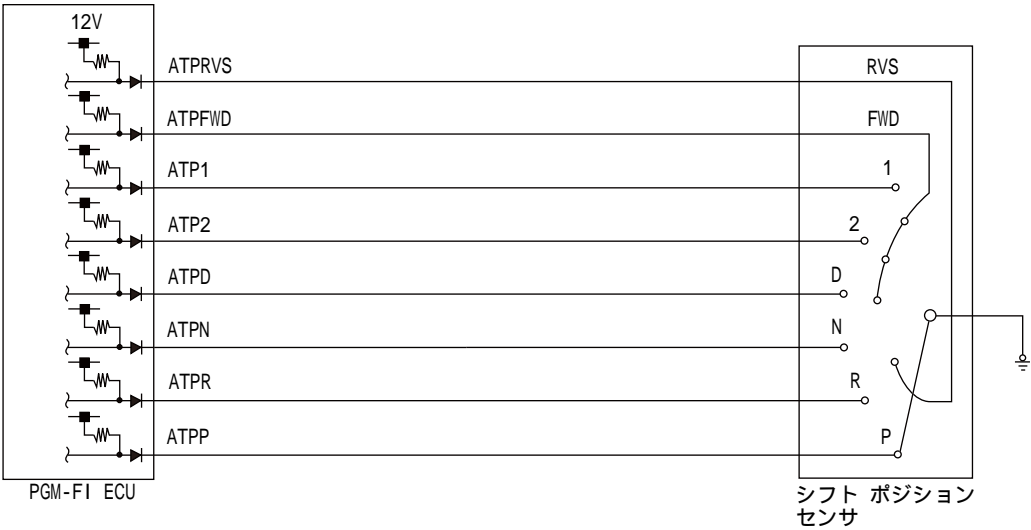


DTC 解説

DTC P0812: シフト ポジション センサ ATP R スイッチ断線

検知原理解説



01_P0705C_SYYP00

セレクト レバー シフト ポジション センサ接続表

セレクト レバー	シフト ポジション センサ信号入力							
	P	R	RVS	N	D	2	1	FWD
P		x	x	x	x	x	x	x
R	x			x	x	x	x	x
N	x	x	x		x	x	x	x
D	x	x	x	x		x	x	
2	x	x	x	x	x		x	
1	x	x	x	x	x	x		

: L0 信号 - クローズ (0V)

x: HI 信号 - オープン (5V もしくは 12V)

シフト ポジション センサは、トランスミッションのコントロール シャフトに固定されている。運転者のセレクト レバー操作により、コントロール ワイヤを介しコントロール シャフトが回転する。コントロール シャフトの回転角度による信号の L0/HI で、どのポジションが選択されているかをシフト ポジション インジケータに表示している。また、コントロール シャフトはシフト ポジション センサの操作とともに、マニュアル バルブを操作することによりトランスミッションの前進 / 中立 / 後退の油圧切替えも行っている。PGM-FI ECU はシフト ポジション センサからの信号を、変速スケジュールを決めるために使用する。PGM-FI ECU の入力端子電圧は、シフト ポジション センサ内の各スイッチがオープン時は HI、クローズ時は L0 となる。セレクト レバーを R ポジションにして走行した際、R スイッチ信号がオープン (HI) となる場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

DTC 解説

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	再現テスト手法による
検知手法種別	2D/C(2 連続検知手法)、PGM-FI 警告灯： 消灯、D 表示灯： 点滅
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	下限	上限
エンジン回転数 [エンジン回転数]	1,000rpm	
バッテリー電圧 [バッテリー電圧]	11V	
セレクト レバーのポジション	R	
当該 DTC の検知禁止要求を行 う DTC	P0705、P0716、P0717、P0721、P0722、P1717	

[]: HDS パラメータ

故障判定基準

セレクト レバーが R ポジションにあるにもかかわらず、R スイッチ信号 [AT R SW] が検出されない場合。

推定故障部位

- ・ PGM-FI ECU とシフト ポジション センサ間コード (ATPR ライン) の断線 (カブラ外れ、もしくは緩みを含む)
- ・ シフト ポジション センサの故障
- ・ コントロール ワイヤの調整不良
- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障

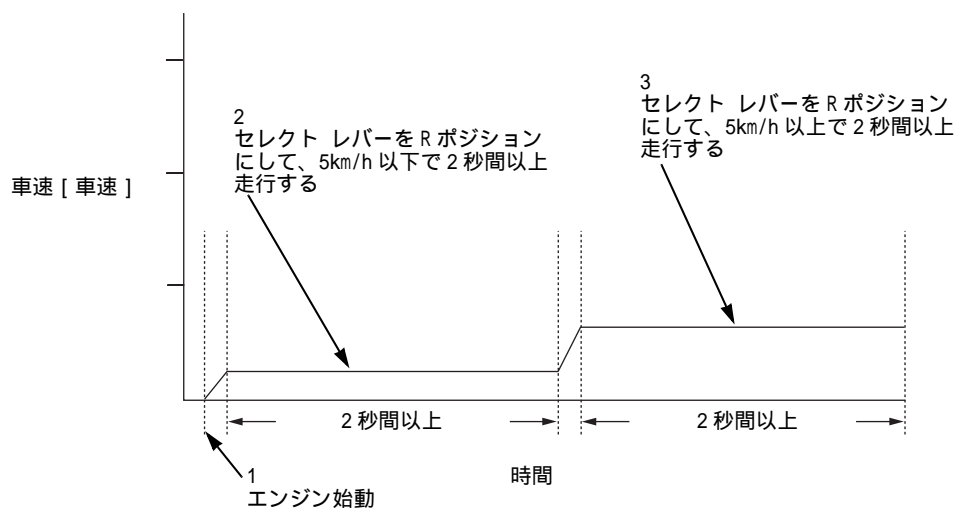
DTC 解説

再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法



01_P0812D_TL1A00

1. エンジンを始動する。
 2. セレクト レバーを R ポジションにして、5km/h 以下で 2 秒間以上走行する。
 3. セレクト レバーを R ポジションにして、5km/h 以上で 2 秒間以上走行する。
- ・ テスト走行を行う際は、法令遵守の上、マナーを守り周囲の状況に即した運転をすること。

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC がストアされる。次回の D/C において同一の故障が検知 (2 連続検知) されると PGM-FI 警告灯が点灯することなく、D 表示灯が点滅し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより D 表示灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。